

2023(令和5)年度 中学校入試

結果分析と学習のアドバイス



雲雀丘学園中学校

目 次

■令和5年度中学校入試

A日程午前 算 数 ・ 国 語 ・ 理 科 ・ 社 会

A日程午後 算 数 ・ 国 語

B日程 算 数 ・ 国 語 ・ 理 科 ・ 英 語

■令和5年度中学校入試

A 日程午前

算 数

令和5年度中学入試A日程午前分析・算数

■全体講評

出題形式は例年と同様である。小学校で学習してきた内容について、基礎力を確認する問題から柔軟な思考力・発想力を要求する問題まで幅広く出題した。

計算問題や小問集合については正答率が高く、基本をしっかりとおさえることができているといえる。ただ、空間能力を要する応用問題では正答率が低く、空間能力の養成が重要であると実感した。

■出題主旨

1. 基本から標準レベルの計算力を問う問題で、計算力が定着しているかを試す問題。基本的な四則計算、分数・小数の混合計算、カッコを含む式の計算が正確にできるかどうかを問うた。
2. 基本から標準レベルの文章題。
3. 平面図形に関する問題。
4. 投票に関する問題。
5. 平面図形に関する問題。
6. 空間図形に水を注いでいく問題。1分後、3分後、5分後の姿がどうなっているかを具体的に考えられるかがポイント。

■対策への助言

算数の学習では、日頃からの努力により、正確な計算力と柔軟な発想力をつけることが重要です。そのためには、数多くの良問に触れること、さらに、焦ってマニュアル的に解答を求めるのではなく、なぜ、そのように考えるのか、じっくりと問題に向き合うことが大切です。そのような取り組み方により培われた発想力・思考力が他の問題の解法にもつながっていきます。

また、正確な計算力をつけるためには、当然のことですが、計算を間違えたときにすぐに直しをすることが大切です。意外にしんどいことですが、この習慣を身につけることで、正確な計算力が習得できます。

■問題分析

5. あきらは A 駅から B 駅まで電車に乗って通学しています。急行なら 15 分、普通なら 22 分かかります。A 駅から B 駅方面に行く電車は、急行が 8 時ちょうどに発車し、その後は 15 分ごとに発車しています。また、普通は 8 時 1 分に発車し、その後は 12 分ごとに発車しています。あきらの家から A 駅までの道のりは 550 m あって、毎分 120 m の速さで駅まで走ります。

(1) ある日、ねぼうしてしまい、家を出るのが 8 時 18 分になりました。なるべく早く学校に行くためには A 駅で何時何分発のどの電車に乗ればよいか求めなさい。

(2) B 駅から教室までは 800 m の距離があり、毎分 150 m の速さで教室まで走ります。学校は 8 時 30 分に始まります。あきらが遅刻しないためには、遅くとも家を何時何分何秒に出なければならぬか求めなさい。

数式で解く問題がすべてではありません。情報を整理し、まとめていく能力も大切です。

- (1) 家から A 駅までは $\frac{550}{120} = 4\frac{7}{12}$ (分) = 4 分 35 秒かかるので、A 駅に到着するのは 8 時 22 分 35 秒です。
この時間の電車を調べると、
8 時 25 分の普通電車は B 駅に 8 時 47 分に B 駅に到着する
8 時 30 分の急行電車は B 駅に 8 時 45 分に B 駅に到着する
よって、**8 時 30 分の急行電車**に乗ればよい。

- (2) B 駅から教室までは $\frac{800}{150} = 5\frac{5}{15}$ (分) = 5 分 20 秒かかる。
8 時 30 分に間に合うためには、B 駅に 8 時 24 分 40 秒までに着かなければならない。
A 駅を出る電車を調べると、
8 時ちょうどの急行電車は 8 時 15 分に B 駅に到着する。
8 時 1 分の普通電車は 8 時 23 分に B 駅に到着する。 ← この電車に乗れば間に合う
8 時 12 分の普通電車は 8 時 35 分に B 駅に到着する。
8 時 1 分に A 駅に着くためには、4 分 35 秒前の **7 時 56 分 25 秒**に家を出ればよい。

■令和5年度中学校入試

A 日程午前

国 語

■全体講評

説明的文章、文学的文章、漢字の書き取り問題の計 3 題の出題である。2 つの文章はどちらも文字数がそれなりに多いので、内容を正確に早く読み取っていく力が求められる。記述問題は計 3 題出題し、字数はそれぞれ 25 字、30 字、35 字である。本文をしっかりと読むことができているのかを問題文からの正確に読み取ることが必要である。文学的文章では主人公の心情を本文の表現から読み取る問題を、会話文の形式で出題した。また俳句を扱った小説でもあったため、俳句の鑑賞に関する問題を最後に設定した。

■出題主旨

大問 1 【説明的文章】土井善晴『一汁一菜でよいという提案』より出題

日常の家庭料理の大切さと、日本の食文化の特徴が述べられた文章である。筆者は、日常の家庭料理は「心地よさ」「穏やかさ」「安心」が感じられるものであり、それらは脳ではなく身体が感じるものだとして述べている。そうした家庭料理は手を掛けて調理するよりも、手を掛けないでシンプルに料理することが普遍的なおいしさにつながる。対比関係として「脳が感じるおいしさ(情動的なおいしさ)」と「身体が感じるおいしさ(普遍的なおいしさ)」、「手を掛けない料理(日本の家庭料理)」と「手を掛ける料理(西洋の料理)」などが挙げられており、筆者の主張する内容を具体例を手がかりに読み進めてほしい。

大問 2 【文学的文章】高柳克弘『そのことばが降ってくる 保健室の俳句会』より出題

過去の出来事が原因で心に傷を負ったソラが、俳句を詠むことを通して自分や他者と向き合い、成長していく物語である。出題箇所の前半はソラと元担任の高橋先生とのやり取り、後半はソラとハセオとのやり取りが描かれている。読解のポイントとしては、高橋先生といるときのソラの心情と、ハセオといるときのソラの心情、また俳句を詠むことに対するハセオの思いが挙げられる。問九では「言葉を輝かせる」「言葉が輝く」とは具体的にどのようなことを説明する必要がある。

大問 3 【漢字】

漢字の書き取り問題を 10 題出題した。普段から様々な漢字を書くことを経験してほしい。また漢字が表す意味も理解すると、より学ぶ楽しさが増す。

■対策への助言

説明的文章では、本文中にくり返し出てくるキーワードに注目し、用いられている具体例などから筆者の主張を読み取ることを心がけてほしい。また、接続詞や副詞、指示語、段落構成など論理に関わる部分だけでなく、筆者の思いや感情を表す言葉にも注目すると、「なぜそのような意見や結論になっているのか」がわかることも多い。

文学的文章では、人物の心情とその心情がわき起こった要因や背景を読み取ることが重要である。その際、主人公だけでなく、他の登場人物の描写、また情景描写にも注目して

読むことで理解はより深まる。また故事成語や慣用句などの問題に関しては、日常生活から言葉と文化に多く触れる経験をして、語彙力を豊富にしておいてほしい。

■問題分析（本文抜粋）

大問一 問三 「情報的なおいしさ」とありますが、これはどのようなおいしさですか。最も適当なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア メディアによって一時的に広められた、人々が食べなくてはいけないと思いこんでいるもの。
- イ メディアによって意図的につくられた、食べた人がおいしいと思いこまされているもの。
- ウ メディアによって次々に更新^{こうしん}される、実際においしいかどうかには重きが置かれていないもの。
- エ メディアによって繰り返し聞かされる、実際に食べなくてもどのような味が予想できるもの。

《解答・解説》

正答はウである。ここは、直後の「普遍的なおいしさ」と対比的に述べられている。「普遍的なおいしさ」とは問二でも話題としている切り干しのおいしさであり、暮らしの安心につながる味である。では「情報的なおいしさ」とは何か。それは傍線部の直前にまとめられている。ポイントは「メディアから発信される刺激的で新しいもの」であること、また「流行りはすぐに廃れ、次々と変化して」いくことである。また「情報的」という言葉からは、脳が感じるインパクトが強いだけの「おいしさ」という意味が読み取れる。

大問二 問九 ——線部⑦「そんな言葉でも、輝くことがある」とありますが、これはどういふことですか。三十五字以内で説明しなさい。

《解答例・解説》

この問題のポイントは二つある。まず一つは「そんな言葉」とはどのような言葉を説明すること、二つ目は「言葉が輝く」とはどういうことかを説明することである。「そんな言葉」とは直接的には直前の「汚い言葉」を指す。より具体的に述べればハセオのセリフ中の「バカとかアホ」という言葉、またソラが臣野シゲルからつけられたあだ名である。ハセオはそんな「バカとかアホ」という言葉でも、言葉が用いられる場面や状況、つまり言葉の使い方によって、その言葉の意味は変わってくると言っている。二つ目のポイント「言葉が輝く」の説明は、傍線部の後にソラが述べている「人を傷つける刃物としてしか、その言葉を使えない」を読み取る。「汚い言葉」が「輝く」とは、ソラの過去の体験を考えれば、「人を傷つけず、むしろ勇気づけたり、人のこころをあたたかくする」と考えられる。

■令和5年度中学校入試

A 日程午前

理 科

■全体講評

例年通り各分野のバランスを考えて、生物、物理、化学、地学の4分野から均等配点で出題しました。難易度や問題数も各分野で偏ることがないようにしています。基本的な知識問題だけでなく、実験内容の理解とその結果の整理、与えられた文章・情報の正しい理解など、科学を扱ううえで必要とされる基礎力を問うことに重きをおいて作問しています。

各分野の正答率を比べると、物理分野において、見慣れない問題であったのか、得点が低かったようです。今まで解き慣れた問題と考え方に違いはありません。なぜそのような解き方になるのか、パターンを覚えるだけでなく、解法の理解をする訓練が必要です。これは、物理分野に限らず、理科全体に言えることですので、普段から意識しながら解いていきましょう。

■出題趣旨・講評

問題 番号	項 目	設 問
1	気体の性質	ものを混ぜることで発生する様々な気体の性質について出題しました。 基本的な内容については差がなく良く出来ていましたが、最後の問題で、グラフからその条件を読み解くことができた人はわずかでした。
2	滑車と輪軸	定滑車、動滑車、輪軸と様々な滑車を用いた問題を出題しました。 動滑車に重さがある場合であっても考え方に変わりはないのですが、見慣れない問題だったのか、重さを問う問題以降の正答率が低くなりました。
3	火山と火成岩	マグマの性質と火山の特徴の関係について出題しました。 どの問も正答率に大きな差はなかった（60%前後）ののですが、火山の形と性質について正しい説明を2つ選ぶ問いで両方を完答できた人の割合が低かったです。
4	水の中の生物	水中で生活するプランクトン、植物、動物の生活のしかたについて出題しました。 中学受験で定番の問題については正答率が高いですが、教科書のコラムに記載されているようなサイエンスに関する話題については、一般教養的な内容にも関わらず正答率が低かったです。

■問題分析

2 (3) 図3のように、動かっ車と定かっ車を使って、重さ 6 kg のおもりを 30 cm 持ち上げました。ロープを引く力の大きさが 4 kg だったとき、動かっ車の重さは何 kg ですか。また、ロープを引く長さは何 cm ですか。

(4) 図4のように、(3)と同じ動かっ車 2 つと定かっ車 1 つを使って 6 kg のおもりを 30 cm 持ち上げました。ロープを引く力の大きさは何 kg ですか。また、ロープを引く長さは何 cm ですか。

(5) 図5のように、(3)と同じ動かっ車 1 つと輪じくを使って 10 kg のおもりを 30 cm 持ち上げました。ロープを引く力が 1 kg 必要だったとき、輪じくの大きい輪と小さい輪の半径の比はいくらですか。その時、ロープを引く長さは何 cm ですか。

図3

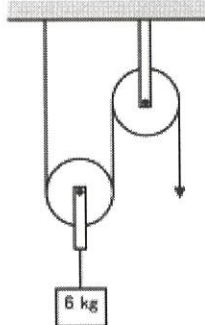


図4

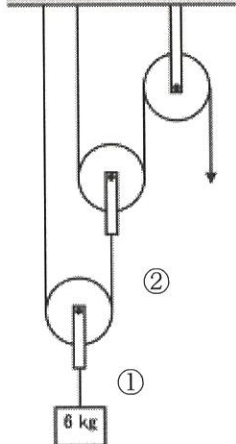
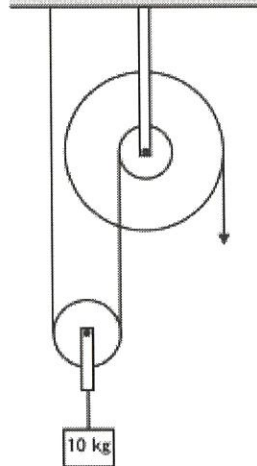


図5



定番の動かっ車の考え方と何ら変わりません。

(3) ロープを引く力の大きさが 4 kg ですので、動かっ車とおもりの重さの合計は $4 \times 2 = 8$ kg となります。おもりの重さが 6 kg ですから、動かっ車のおもさは $8 - 6 = 2$ kg となります。また、ロープを引く長さはおもりを引き上げる高さの 2 倍となりますので、 $30 \times 2 = 60$ cm となります。

(4) ①の動かっ車とおもりのおもさの合計は 8 kg ですので、②の動かっ車は 4 kg のおもさを支えています(3)。さらに、②の動かっ車のおもさ 2 kg と②の動かっ車が支えている 4 kg の合計 6 kg を動かっ車で持ち上げることになりますから、ロープを引く力の大きさは $6 \div 2 = 3$ kg となります。また、おもりを 30 cm 持ち上げるためには、②の動かっ車は $30 \times 2 = 60$ cm 上る必要があります、②の動かっ車を 60 cm もちあげるためには、ロープは $60 \times 2 = 120$ cm 引く必要があります。

(5) 動かっ車とおもりのおもさの合計は $10 + 2 = 12$ kg です。したがって、輪じくの小さい輪が支える力の大きさは $12 \div 2 = 6$ kg となります。以上のことから、大きい輪が支える力の大きさと小さい輪が支える力の大きさの比は 1:6 であることがわかります。このことから、大きい輪の半径と小さい輪の半径の比は 6:1 となります。また、おもりを 30 cm 持ち上げるためには小さい輪が巻き上げるロープの長さは $30 \times 2 = 60$ cm ですから、大きい輪にかかるロープを引く長さは、先ほど求めた半径の比から $60 \times 6 = 360$ cm となります。

■対策への助言

基本的な事象・用語・実験手順などは問題集で十分に対応できます。しかし、解ききれない問題でも対応できるように、普段から「なぜそのように解くのか」を意識しながら学習してみてください。

■令和5年度中学校入試

A 日程午前

社 会

■全体講評

社会科として4回目の中学入試となりました。問題講評にあたり、以下の3点に留意しました。

- ① 受験者全体の平均点を60点前後となるようにする。
(難問はないが、読解力を問う問題を多く出題する)
- ② まんべんなく全範囲から出題する。
- ③ 時事的な内容からも出題する。

■出題趣旨・講評

問 題 番 号	項 目	設 問
1	(地理) 世界遺産に関する問題	ユネスコをはじめとする世界遺産に関する知識や、沖縄県に関する知識を問いました。自由記述として、富士山が世界遺産に登録されたことにより、どのような問題が起きているかを出題しました。
2	(地理) 伝統的工芸品を通じた日本地理	伝統的工芸品が多い東京都、京都府、新潟県、沖縄県に関する問題を出題しました。雨温図やデータの読み取りだけでなく、都府県に関する知識を問いました。
3	(歴史) JR 西日本の「三都物語」を用いた問題	大阪市、京都市、神戸市に関する歴史的事象を問いました。“天下の台所”を答え、さらにその由来に関する問題などを出題しました。時事的な用語についても、出題しました。
4	(歴史) 中国・朝鮮半島・日本の文字を通じた問題	文字を通して、中国、朝鮮半島、日本の歴史的なつながりに関する問題を出題しました。文字の伝達ルートや朝鮮戦争などの歴史的事象に加え、地理と歴史の融合問題が複数ありました。
5	(公民) 我々の生活を支える仕組みに関する問題	三権分立や地方自治といった基本的な知識を問う問題や、少子高齢化が与える影響、主に都道府県が行っている活動などを問う問題を出題しました。

■問題解説

大問 2

(5)次のア～エのうち、京都府に関する説明として誤っているものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 府の北部にくらべ、南部に人口が集中している。
- イ 府庁所在地は、道路が直角に交わった区割りである。
- ウ 日本三景のひとつである、天橋立^{あまのはしだて}がある。
- エ 織田信長が命じて造らせた安土城^{しるあと}の城跡がある。

■解説

京都府は、南部に京都盆地があり、そこに位置する京都市に府内の人口の50%以上が集中しています。京都市は平安京の街づくりの際、基盤の目状に道がつくられ、現代でもその区画が見られます。日本三景は、松島・宮島・天橋立がかぞえられ、京都北部の宮津湾に天橋立があります。安土城は、琵琶湖東岸に造られた城で、本能寺の変の後に焼失しました。現在の滋賀県にあたる土地に造られました。よって、答えはエとなります。

大問 5

(4)都道府県、市町村はさまざまな形で協力して、私たちの生活を支えています。そのうち、主に都道府県によって行われているものを次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。ただし、都道府県と市町村の両方が行っているものは正解としません。

- ア 水道 イ 消防 ウ 警察 エ 病院

■解説

水道事業・病院運営は、自治体によりますが、都道府県と市町村の両方が行っています。消防局は市町村が主体となり、運営されています。一方、警察は都道府県が管理しています。よって、答えはウとなります。

◇対策への助言

社会科という科目は、教科書にのっている内容だけを勉強するだけでは不十分です。身近な話題をもとに、一つの物事を様々な角度から捉えていく必要があります。そのためには、新聞やニュースから、関心を持った内容について、深く考えてみてください。新聞やTVのそばに、辞書や地図・地球儀を置き、気になったことはすぐに調べる習慣をつけていくと良いでしょう。

また、今年度は地理、歴史、公民といった分野にまたがった問題をいくつか出題しました。分野でわけて考えるのではなく、総合的にみる力をつけて欲しいと考えています。

■令和5年度中学校入試

A 日程午後

算 数

令和 5 (2023) 年度 中学入試A日程午後分析・算数

■全体講評

出題形式は例年と同様である。小学校で学習してきた内容について、基礎力を確認する問題から柔軟な思考力・発想力を要求する問題まで幅広く出題した。また、思考力・発想力を要求する問題として、空間図形の把握、先生と生徒との会話を使って流水算の計算、図形の移動などを出題したが、よくできていたと思われる。

計算問題や小問集合については正答率が高く、基本をしっかりとおさえることができているといえる。また、思考力・発想力を要求する問題についても正答率が高く、問題の意図を読み取る能力や図を正しく分析する能力にも秀でている。

空間能力を要する応用問題でも比較的正答率が高く、空間能力の養成もされていると実感した。

■出題主旨

1. 基本から標準レベルの計算力を問う問題で、計算力が定着しているかを試す問題。基本的な四則計算、分数・小数の混合計算、カッコを含む式の計算が正確にできるかどうかを問うた。
2. 基本から標準レベルの文章題。
3. 空間図形をイメージし、立方体の数、面積を求める問題。
4. 先生と生徒の会話を使って、流水算の計算問題。
5. 直角二等辺三角形を動かし、長方形との重なった図形の面積を求める問題。

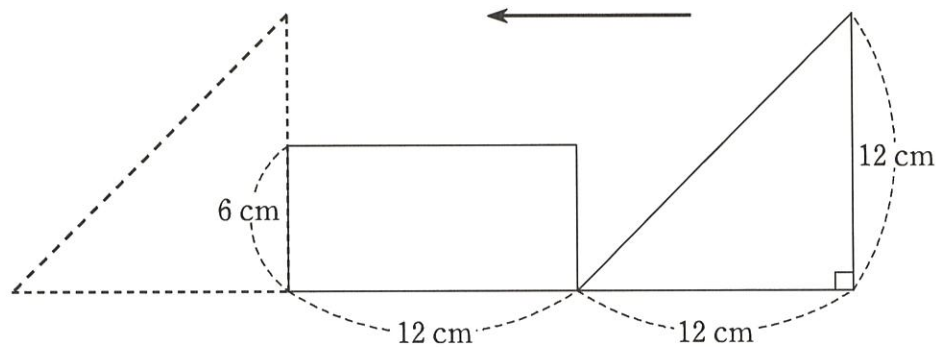
■対策への助言

算数の学習では、日頃からの努力により、正確な計算力と柔軟な発想力をつけることが重要で
す。そのためには、数多くの良問に触れること、さらに、焦ってマニュアル的に解答を求めるの
ではなく、なぜ、そのように考えるのか、じっくりと問題に向き合うことも大切です。そのよう
な取り組み方により培われた発想力・思考力が他の問題の解法にもつながっていきます。

また、正確な計算力をつけるためには、当然のことですが、計算を間違えたときにすぐに直し
をすることが大切です。意外にしんどいことですが、この習慣を身につけることで、正確な計算
力が習得できます。

■問題分析

長方形と直角二等辺三角形があります。最初、下の図のようになっていて、直角二等辺三角形を矢印の方向に毎秒1 cmで動かします。長方形と直角二等辺三角形の重なった部分の面積を考えます。



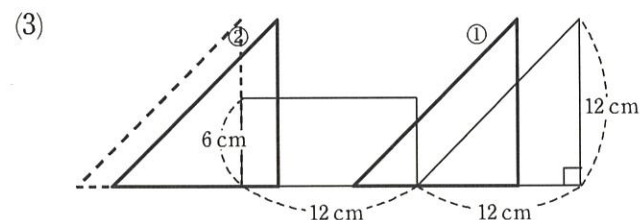
- (1) 6秒後の面積を求めなさい。
- (2) 面積が最大になるのは、何秒後ですか。また、その面積を求めなさい。
- (3) 面積が 8 cm^2 になるのが、2回あります。何秒後と何秒後ですか。考え方も書きなさい。

考え方と解き方

- (1) 6秒後は底辺6 cm，高さ6 cmの直角二等辺三角形より， $6 \times 6 \div 2 = 18$
(答え) 18 cm^2

- (2) 最大になるのは、下底12 cm，上底6 cm，高さ6 cmの台形になるときより，12秒後で，面積は $(12+6) \times 6 \div 2 = 54$

(答え) 12秒後， 54 cm^2



- ①重なった部分が直角二等辺三角形になる場合，秒後とすると

$$\square \times \square \div 2 = 8 \text{ より, } \square \times \square = 16 \text{ よって, } \square = 4$$

- ②重なった部分が長方形になる場合，縦が6 cmより，横が $\frac{4}{3}\text{ cm}$ になればよい。

したがって，時間は $24 - \frac{4}{3} = 22\frac{2}{3}$ 秒後になる。

(答え) 4秒後と $22\frac{2}{3}$ 秒後

■令和5年度中学校入試

A 日程午後

国 語

■全体講評

大問1【評論】丹羽宇一郎『死ぬほど読書』から出題。

本を手に取り読むということが少なくなっている今、本を読むことの大切さや意義を語った文章である。文章上での表記や内容は特別難しいものではなかったが、「セレンディピティ」などの聞き慣れない言葉に戸惑った受験生もいたかもしれない。おおよそ文章内容を理解して解答できていたようだが、慣用句を問う問題では正答率が低かった。

大問2【小説】岡田潤『幽霊ランナー』から出題。

主人公「優」と、その周囲にいる人物との関わりの中で、優が自分の内面に向き合い成長していく文章である。本文の内容に関連して、別場面の文章を読んで本文と比較する問題も出題した。記号問題は概ねできていたが、やはり記述問題で課題が見られた。全体の文章量もほどほどに多く、速く文章を読んだ上で情報を整理することに精緻さを欠いたように思われる。

■出題趣旨

大問1【評論】

本を読むことの効用は何か、運を引き寄せるにはどのようにすればよいのか、という点を主軸に出題している。「セレンディピティ」という単語に困惑したかもしれないが、具体例を交えながら一貫してシンプルに主張を展開している文章で、具体例をきちんと読むことから、その内容の神髄と筆者の主張を整理して読んでもらいたい。

大問2【小説】

優の心情がどのように揺れ動いているのか、またその心理を、傍で見ている人物はどのように捉えているのか、そしてまた、その周囲の人物との関わりによって優はどのように変化していくのか、という点について出題している。本文は優に視線が注目するように描かれているが、他の人物の心情も描かれており、場面を想像しながら丁寧に読み解いていくことが解答のポイントとなるだろう。

■対策への助言

説明的文章では、基本的な解法として、傍線部付近の接続詞や指示語に注目し、前後の内容から答えを探すことはもちろん大切である。しかし、全体の文脈から話題になっていることを忘れてはならない。具体例を読んで内容を理解し、それによってどのように論理が展開されているのか、という流れを見失わないようにしてほしい。

物語的文章では、登場人物の成長をテーマとするものが多い。出来事と人物の関係、登場人物同士の関係、情景描写と心情の関連性などを複合的におさえ、心情の変化に注目するようにしてほしい。特に、直接的に心情が書かれていないことも多いことから、人物の周りで起こっている出来事や情景は丁寧に読んでいくことが求められるだろう。

語彙力の問題は、普段の生活ではあまり見かけない、聞き慣れないようなものが出題さ

れることもある。漢字や慣用句など、幅広く練習しておく必要がある。漢字検定を参考にしたり、日頃から本や新聞、ニュースなどに親しみ、知識を広げておくことが望ましい。

大学入試において、新傾向問題という言葉が飛び交うようになって久しい。複数の文章を読み比べたり、本文に関係するデータなどを読み取ったりするなど、従来の傾向とは一線を画す出題形式になってきたことは自明のことである。複数の情報を照らし合わせて関係性を読み解き、解釈する力が求められる。ある程度の長さの文章を、内容を整理しながら素早く読む練習が必要であろう。

■問題分析

大問1の評論文では、内容整理などの選択肢問題は得点率が高かったが、記述問題で得点率が低かった。

問八 ——線部⑦「読書というひとときを持つ」とありますが、運がないと感じている人になぜ読書は必要なのですか。解答らんに続くように四十字以内で答えなさい。

(、 。 「 」は字数に数えます。)

直前に書かれている部分から接続詞に注目し、必要な箇所をまとめる問題であった。ただ、参考にした部分にも指示語が使われており、その内容をさらにさかのぼって答案に組み入れることまでが求められていた。必要な要素を素早く見つけ出し、的確な日本語でまとめられたかどうかが重要である。

正解例

(さまざまな本を読んだ人は、)人間を深く知ることができ、周囲から信頼され、より多くのチャンスを得られるから。

大問2では、二つの文章を比較して解答内容を深めるという、大学入試新傾向問題を意識したものを出题した。

問十 ——線部⑨「優は、足首の包帯をはずした」とありますが、このときの優の心情について文章②をふまえて次のようにまとめました。この文章の(Ⅰ)～

(Ⅲ)にあてはまることばをそれぞれ指定した字数で文章①から探し、書きぬきなさい。(、 。 「 」は字数に数えます。)

歩夢との会話を通し、優は田舎で逃げ水を追った日に気づいた「(Ⅰ 十字以内)」という気持ちを思い出した。これによって、周囲からの(Ⅱ 六字)に思い悩むことなく、(Ⅲ 十字以内)ことで、歩夢と同じように自分の目標を達成できればよいと思えるようになった。

文章①と②の両方で言及されている「走ることが好き」や「自分らしく走ればいい」という内容に気づき、正しくことばを抜き出せるかが焦点である。それぞれの文章を関連付けて読めるように、常に内容を整理して読むことを心がけたい。

正解例

Ⅰ：走ることが好き Ⅱ：プレッシャー Ⅲ：自分のベストをつくす

■令和5年度中学校入試

B 日程

算 数

令和 5 (2023) 年度 中学入試 B 日程分析・算数

■全体講評

出題形式は例年と同様である。小学校で学習してきた内容について、基礎力を確認する問題から柔軟な思考力・発想力を要求する問題まで幅広く出題した。特に思考力・発想力を要求する問題では、頻出の解法と異なる考え方をするものや、別分野の解法を組み合わせる問題など、普段の演習で理論的に理解して取り組んでいるかを重視して出題した。

計算問題や演習を重ねてきた頻出の解法を用いる問題については正答率が高く、基本の定着への努力が伺えた。上述のような思考力・発想力を問う問題では、求めている力の有無で差がついた結果となった。また、考えたことを理論的に記述する必要がある問題では、論理的に説明のできていない解答が複数見られた。もちろん説明できている解答もあり、論理的に説明する演習の有無で差がついたといえる。

普段での演習において、論理的に思考し、どの計算で何がわかるのかを整理して問題に取り組んでほしい。これは進学後においても求められる力である。

■出題主旨

1. 基本から標準レベルの計算力を問う問題で、計算力が定着しているかを試す問題。
2. 基本から標準レベルを主とした文章題。(4)の後半部分では、集合において全ての可能性(集合 A の要素が全て集合 B に含まれるなど)を考えるなど、少し思考力を問う問題も出題した。
3. 新課程である中央値に関する問題。(2)ではつるかめ算も組み合わせて考える必要がある。(3),(4)では論理的に全ての可能性を考える力を求めた。
4. 投票率・支持率を用いた割合の問題。与えられた条件から理論的に考える力や、工夫して計算する力(差を用いるなど)を問うた。
5. 立方体でなく直方体を積む問題。立方体で演習した頻出解法を用いることはできない。空間を正しくイメージする力を求めた。

■対策への助言

日常の演習で、「どの条件を使って、どのような計算をすれば、何が求められるのか」を整理してください。計算の正確さや手早さのためには反射のように書く必要もあります。それももちろん大切であるとは思いますが、多くの演習を積むなかで、ふと立ち止まって「これはどの条件を使って何を求めている計算であるのか」を考えることも大切です。これは今後数学を学習していくなかで必要な論理的思考力につながります。ただ解法を暗記して取り組むのではなく、それぞれの解法の由来や共通点などを考え、解法を整理する力をつけましょう。

また、自分の考えを相手にわかりやすく伝えることも大切です。これも上記の力につながります。論理的に説明する力をつけるには、日常の演習で説明文を書いたり、口頭で説明するなどしかな方法はありません。日頃行っていることしか入試本番ではできません。焦らず努力を重ねてください。

■問題分析

3. あるクラスには 30 人の生徒がいます。全員が 10 点満点のテストを受け、その結果は次のようになり、中央値は 5 点、平均値は 5.2 点でした。

点数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
人数	0	1	4	4	ア	0	イ	3	ウ	2	1

- (1) アにあてはまる人数を求めなさい。
 (2) イにあてはまる人数を求めなさい。

クラスの中で 2 人にだけ採点まちがいがあり、2 人とも 3 点高くなりました。

- (3) 正しい中央値はいくらですか。考えられる値の中で、最も低い値を答えなさい。
 (4) 中央値が変わらなかったとき、点数が高くなった 2 人の正しい点数の合計はいくらですか。考えられる点数の中で、最も低い点数を答えなさい。

考え方と解き方

- (1) 30 人の結果であるから、中央値は低い方から 15 番目と 16 番目の点数の平均である。

5 点の生徒は 0 人であり、3 点以下の生徒は全部で $1 + 4 + 4 = 9$ 人であるから、中央値が 5 点になるには、15 番目の点数が 4 点、16 番目の点数が 6 点である。

したがって、アにあてはまる人数は $15 - 9 = 6$ 人

- (2) 全部で 30 人であるから、イとウの和は

$$30 - (1 + 4 + 4 + 6 + 3 + 2 + 1) = 30 - 21 = 9 \text{ 人}$$

また 30 人の生徒の点数の和は $5.2 \times 30 = 156$ 点であるから、6 点と 8 点の生徒の点数の和は

$$156 - (1 \times 1 + 2 \times 4 + 3 \times 4 + 4 \times 6 + 7 \times 3 + 9 \times 2 + 10 \times 1) = 62 \text{ 点}$$

したがって、イにあてはまる人数は

$$(8 \times 9 - 62) \div (8 - 6) = 5 \text{ 人}$$

- (3) 採点まちがいがある生徒 2 人とも 3 点高くなるので、中央値が元より低くなることはない。

6 点の生徒と 7 点の生徒 1 人ずつが 3 点高くなるときなど、中央値が変わらないときはあるので、正しい中央値の中で考えられる最も低い点数は 5 点

- (4) 低い方から 15, 16 番目の生徒の点数は、それぞれ 4 点、6 点より低くなることはないので、中央値が変わらないとき、低い方から 15, 16 番目の生徒の点数は変わらない。

できるだけ低い点数の生徒に採点まちがいがあることを考える。

4 点以下の生徒のなかで、1 点の生徒 1 人のみに採点まちがいがあるとき、低い方から 15 番目の生徒の点数は 4 点のままである。2~4 点の生徒に採点まちがいがあると、低い方から 15 番目の生徒の点数は 5 点以上になる。

さらに、6 点の生徒は(1)より 5 人であり、このうち 1 人に採点まちがいがあっても、低い方から 16 番目の生徒の点数は 6 点のままである。

したがって、点数が高くなった 2 人の正しい点数の合計は、最も低い点数で

$$(1 + 3) + (6 + 3) = 4 + 9 = 13 \text{ 点}$$

■令和5年度中学校入試

B 日程

国 語

■全体講評

文学的文章と説明的文章の 2 題を出題した。

説明的文章は標準的な長さであったが、文学的文章はやや長めで、登場人物の複雑な心情が描かれた場面を出題した。全体として、難易度はやや高かったのではないかと考えられる。

今回は記述問題がやや多く、30 ～ 45 字以内で考えてまとめる問題を 4 問出題した。指示語の内容や登場人物の心情を問うたものであるが、いずれも得点率が 50 % を切っていた。

漢字は別立てにせず、本文の中から 12 問を出題した。高学年で習う漢字は学習の成果がよく表れていたが、同音異義語や日常でありあまり使わない言葉に関しては、易しい漢字であっても正答率が低かった。単純なドリル学習だけでなく、日頃から語彙を少しずつ増やしてほしい。

■問題趣旨

大問 1 文学的文章 小川糸『サーカスの夜に』より出題

主人公の「僕」は、身長が伸びないというハンディキャップを背負っているが、サーカス団に入門して様々な人と触れ合い、経験を積んでいく中で、ありのままの自分を受け入れていくことが大切なのだと気づいていく。比喻表現や情景描写にも留意しながら、様々な場面における登場人物の心情や、「僕」の心の揺れ、変化などを丁寧に読み取ってほしい。

大問 2 説明的文章 五箇公一『これからの時代を生き抜くための生物学入門』より出題

人間は「ヒューマニティー」を持つという点において他の動物と異なるはずであるが、逆に人間であるがゆえに、いじめというエゴイスティックな振る舞いをすることがある。いじめがいかに愚かな行為であるのかということを、生物学の視点から述べた文章である。人間以外の動物に関する具体例がいくつも挙げられており、それが何を説明するためのものなのかを理解しながら、文章全体における筆者の主張を押さえていってほしい。

漢字の問題については「別次元」、「栄養源」等が、熟語に否定の漢字 1 字をつける問題では「無（理解）」、「不（確実）」等の正答率が低かった。

■対策への助言

説明的文章に関しては、指示語や接続詞に注意を払いながら、具体例によって筆者が何を説明したいのかを意識し、文章全体における筆者の主張を正確に捉えていこう。

文学的文章はあらすじだけでなく、登場人物の人物設定や互いの関係性、それぞれの場面における登場人物の心情等を丁寧に読む必要がある。

記述力は一朝一夕に身につかないが、まずは自分で考え、短い字数で文を書く練習をしてほしい。その際、フィーリングや曖昧な文章理解で答えるのではなく、本文中にある根拠を探しながらまとめていく必要がある。書き始める前に、設問に対して「何」を、「どう」答えなければならないのかを強く意識することが大切である。

近年、本校の入試では比較的長い文章を出題しており、それを限られた時間内に正確に読まなければならない。日頃から SNS における短い言葉のやりとりだけでなく書物に親しみ、まとまった長さの文章読解に慣れておいてほしい。

■問題分析

大問 1

「(略) トロ、子どもの頃、綱渡り師^{つなわた し}になりたかったんですって。でも、怪我をしたから、どうしてもその夢はあきらめなくちゃいけなくなったの。だからきつと、レインボーサーカスの舞台^{ぶたい}に立つと、その悔しさみたいなのを、思い出しちゃうのかもね。それで、本当はクラウンなんかやりたくなかったのになってという気持ちが、無意識のうちににじみ出ちゃうんじゃないかしら。だから、ふだんのトロのクラウン芸^{くぎ}って、なんかこう、深くないっていうか、面白味^{おもしろ み}に欠けるのよね」

ローズ^④は、一気に喋^{しゃべ}った。

「でも、それはもうどうしようもないことでしょう？」

「うん」

僕^めだって同じなのだ。この十歳の体から抜け出せないことは、どうしようもない。

「だからきつとふだんのステージに立つと、変な劣等感^{れつとうかん}がトロを支^さはいしてしまうんじゃないかしら？ でも、クリニクラウンの時は、それが出ないの。だって、相手も傷ついた人達だから。

トロはまだ、運命と和解^{えん}ができていないのよね。私が偉^{えら}そうに言えることではないんだけど」

それからローズは、とても哀^{かな}しそうに微笑^{ほほえ}んだ。

運命と和解する、か。^⑤その言葉^{ことば}が、僕のあばら骨^{きほね}の辺^{へり}りに奇妙な格好^{きみょう}で引っかかっていた。

問七 ——線部④「それはもうどうしようもないこと」とありますが、「それ」が指す内容を四十字以内で答えなさい。(、。記号は字数に数えます。)

[解答・解説]

老人ホームへの慰問で、いつもよりいきいきとクラウンを演じていたトロについて述べたセリフである。妻であるローズの直前のセリフから、「僕」と同様にトロにも変えられない過去があり、それを抱えながら生きていることを知る。

具体的には、トロが子どもの頃に大怪我をして、憧れていた綱渡り師になれなかったため、日頃の舞台ではクラウンを演じていても無意識に悔しい気持ちがにじみ出てしまうことを、制限字数内でまとめる。

(解答例) トロは怪我のせいで夢がかなわず、舞台に立つとその悔しさがにじみ出てしまうこと。

問八 ——線部⑤「その言葉が、僕のあばら骨の辺りに奇妙な格好で引っかかっていた」とありますが、これは「僕」のどのような気持ちをたとえたものですか。四十五字以内で説明しなさい。(、。記号は字数に数えます。)

[解答・解説]

「その言葉」というのが何を指しているのか、「あばら骨の辺りに奇妙な格好で引っかか」という表現が「僕」のどのような心情を表しているのかを考えてほしい。心情を聞かれたときは、行動や状態の説明にならないように気をつけて言葉を選びたい。さらに、「僕」にとって和解しなければならない「運命」とはどのようなものであるのかを説明しよう。

(解答例) 僕自身も十歳の体から抜け出せない運命と折り合いがついていなくて、すっきりしない気持ち。

■令和5年度中学校入試

B 日程
理 科

■全体講評

例年通り各分野のバランスを考えて、生物、物理、化学、地学の4分野から均等配点で出題しました。難易度や問題数も各分野で偏ることがないようにしています。基本的な知識問題だけでなく、実験内容の理解とその結果の整理、与えられた文章・情報の正しい理解など、科学を扱ううえで必要とされる基礎力を問うことに重きをおいて作問しています。

いずれの分野の問題においても、受験生のみなさんが問題集などでよく目にする形式の問題の正答率は非常に高く、しっかりと練習を積んできていることが感じられました。その一方、問題文をしっかり読み取ること、与えられたデータから、そのデータの関係性を導くことについては、正答率にばらつきのある結果となりました。理科用語の暗記や現象に関する理解だけでなく、データを様々な切り口から考察する力もつけていきましょう。

■出題趣旨・講評

問題 番号	項 目	設 問
1	植物のからだのつくりと性質	身近な現象である「紅葉」と、種子植物の葉の構造を考える問題を出題しました。 基本的な知識を問う問題の正答率が高いものの、現象の意味やデータを解釈する問いに回答する力は不十分です。
2	コンデンサーとダイオード	教科書に記載のあるコンデンサーの名称を答える問題の正答率が55%しかありませんでした。その代わりに、発光ダイオードの略語であるLEDについては、教科書に記載はありませんが、ほぼ全員答えることができていました。手回し発電機を用いた実験を題材にした問題ですが、定番の問題にもかかわらず、正答率が低くなりました。ただ、後半の問題は、ダイオードを複数用いた複雑な回路図にも関わらず、電流の流れを正しく理解できたようで、正解率が予想以上に高かったのが印象的でした。
3	気体の性質・分類	身の回りにある気体の性質について出題しました。 一種類の気体に関する知識のみを問う問題の正答率は高かったです。しかし、条件によって複数の気体をグループ分けする問題は正答率が低かったため、共通の性質などを日頃から意識して勉強しているかの差が出る結果となりました。
4	太陽と地球の関係	緯度と経度の異なる3つの都市の日の出、南中、日の入りの時刻のデータを読み取る問題を出題しました。 表のデータから読み取る問題は非常に良くできていましたが、宇宙空間から見た地球と太陽を示した図から考える問題は正答率が低くなりました。

■問題分析

植物の葉は平らではばの広いものが多いですが、マツやスギなどの細長いものもあります。平らではばの広い葉を「広葉」、細い葉を「針葉」といいます。みどりさんたちは、それぞれの葉の特ちょうを考えることにしました。下の表1は同じ重さのサクラの葉（広葉）とマツの葉（針葉）を用意し、光が当たる上側の面の面積と全体の表面積を比較したものです。（単位はすべて cm^2 です。）

表1

	光が当たる面積	葉全体の表面積
サクラ	96	200
マツ	48	120

(7) 表1から考えられることとして正しいものはどれですか。次のア～カから2つ選び、記号で答えなさい。

- ア 葉全体に対して、光が当たる面積の割合は広葉の方が大きい
- イ 葉全体に対して、光が当たる面積の割合は針葉の方が大きい
- ウ 光が当たる葉の枚数は、広葉の方が大きい
- エ 光が当たる葉の枚数は、針葉の方が大きい
- オ 温度が低い場所では、広葉の方が熱をうばわれにくい
- カ 乾燥する場所では、針葉の方が水分をうばわれにくい

(7) サクラは「広葉」、マツは「針葉」です。各選択肢を以下のように考えます。

ア・イ 葉全体に対する光が当たる面積の割合は、 $(\text{光が当たる面積}) \div (\text{葉全体の表面積})$ で求めることができます。

サクラ（広葉）の葉全体に対する光が当たる面積の割合 $= 0.48$

マツ（針葉）の葉全体に対する光が当たる面積の割合 $= 0.4$

となるので、アが正解になります。

ウ・エ 表1の値から、光の当たる葉の枚数について考えることはできません。

オ・カ 陸上で生活する植物は、葉から熱や水分を放出しています。葉の表面積の大きい広葉は、熱や水分をうばわれやすい性質があります。一方、葉の表面積の小さい針葉は、熱や水分をうばわれにくい性質があります。

したがって、カが正解になります。

■対策への助言

基本的な事象・用語・実験手順などを問題集で覚えるだけでなく、データから思考力を問うような問題の対策として、なぜそうなるのか常に深く考察してください。

■令和5年度中学校入試

B 日程

英 語

講評

■全体

筆記・面接ともに昨年度に準じた出題形式。筆記試験は30分・60点、面接試験は40点。

平均得点率は長文＝80%、文法・語彙＝52%、英作文＝70%、面接＝70%、全体得点率は66%だった。

レベルは英検3級より少し高い。

筆記	項目	設問
1	長文読解	内容理解の選択式
2	表現・文法	適語の選択式
3	表現・文法	同意文作成・空欄の記述式
4	英作文	テーマ英作文 Which do you like better, playing inside or outside? その理由を25～35語…で書く

面接	項目	設問
1	挨拶	基本的な挨拶と応答
2	音読(1分)	「読書」に関する英文の音読：発音・イントネーション・リズムなど
3	内容理解	2英文の内容に関する質問・応答
4	関連質問	テーマに関連する受験者自身についての質問・応答①
5	追加質問	テーマに関連する受験者自身についての質問・応答②

■出題趣旨

問題	項目	出題趣旨
1	長文読解	英検準2級～3級程度の文章の理解をみる問題。動物たちが集まって作った学校の記事を通して、教育の在り方を問う。
2	表現・文法	英検準2級～3級程度の文法、語法の理解の程度をみる問題。基本的な問題と中学生が間違いやすい問題が含まれるようにしている。
3	表現・文法	
4	英作文	問題の条件をふまえて、英語で自分のことを表現する力を問う。

■問題分析

1. 長文読解

解答率 100%の問題が 2 問あった。全体的によくできていた。正答率 80%。

2・3. 表現・文法

②正答率が 56%。(7)が正答率 0%であった(He is the better of～.)が、その他はまずまず出来ていた。

③正答率は 37%。特に低かったのが(2)(4)で、正答率は 30%。

4. 英作文

全体的な構成は大変良かったが、単語のつづりや、動詞の語法などの簡単なミスが多く見られた。丁寧に学習に取り組むことが必要。

■対策の助言

* 長文読解

英検 3 級程度の問題集や少し頑張れば読める本などを利用して練習問題をしておきましょう。

* 表現・文法・

英検 3 級程度の問題集などを利用して練習問題をしておきましょう。

* 英作文

基本的な英語表現を覚え、使えるようにしたり、正しい綴りで書けるようにしておきましょう。

* 面接

英検 3 級の 2 次面接に準じた形式です。文章や質問の理解と、それに対する応答を求める問題が中心でした。基本的な例文を理解して音読・暗唱するだけでなく、対話文などを使って自然な会話の流れの中で質疑応答をする練習をしましょう。また身近なテーマや自分自身のことに関して英語で表現する練習もしましょう。